【日本医科大学付属病院　がん化学療法レジメン】

≪無断転載禁止≫

レジメン番号： HDLY-101

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
ホジキンリンパ腫	ABVD療法	28日間	6～8コース	☐ 進行/再発 ☐ 術後補助化学療法 ☐ 術前補助化学療法 ☐ 放射線併用化学療法 ☐ その他	高	N Engl J Med. 1992; 327: 1478-1484.

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
①	アロキシ 生理食塩液	0.75㎎ 50mL	点滴静注	5分	↓														↓													
②	ソルコーテフ 生理食塩液	100㎎ 50mL	点滴静注	5分	↓														↓													
③	ドキソルビシン 生理食塩液	25㎎/㎡ 100mL	点滴静注	10分	↓														↓													
④	ブレオ 生理食塩液	10㎎/㎡ 50mL	点滴静注	5分	↓														↓													
⑤	エクザール 生理食塩液	6㎎/㎡ 50mL	点滴静注	5分	↓														↓													
⑥	ダカルバジン 生理食塩液	375㎎/㎡ 250mL	点滴静注	60分	↓														↓													
⑦	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓														↓													

＜注意事項/備考＞

✓ 催吐リスク：高：NK1受容体拮抗薬+5HT3拮抗薬+DEX
✓ ダカルバジン投与時の血管痛予防のため、点滴ラインを含めすべて遮光
✓ DXR：アントラサイクリン系薬剤を使用した前治療歴確認、累積投与量500㎎/㎡以上で心筋障害発生リスク↑、 治療開始前には心エコー検査を
✓
✓
✓